

第一回

言語芸術朗読コンテスト



高校生対象の朗読コンテストです(性別問わず)

2013年に新設された言語芸術学科では、詩・小説・演劇・映画など言葉を表現手段とする芸術を通して、全人的な教養教育を目指しています。学科スタートを記念し、本年度より、日本文学を題材にした朗読表現のコンテストを催すこととなりました。

一次審査課題文

はじめに氏名、高校名、タイトル『山椒大夫』を吹き込んでください。

課題文は学科ブログ(下記URL)にも掲載しています。

藁葺(わらぶき)の家が何軒も立ち並んだ一構えが柝(は)はその林に囲まれて、それに夕日がかつとさしてるところに通りがかった。
 「まああの美しい紅葉(もみじ)を「ごらん」と、先に立っていた母が指さして子供に言った。
 子供は母の指さす方を見たが、なんとも言わぬので、女中が言った。
 「木の葉(は)があんなに染まるのでございませうから、朝晩お寒くなりましたもの無理(無理)はございませぬね」
 姉(あね)が突然弟(あに)を顧(か)みて言った。「早くお父(おとう)さまのいらつしやるころへ往(い)ゆきたいわね」
 「姉(あね)さん。まだなかなか往(い)かれはしないよ」弟(あに)は賢(さ)さかしげに答えた。
 母(はは)が諭(な)さすとすように言った。「そうですとも。今まで越(こ)して来たような山(やま)をたくさん越(こ)して、河(か)や海(うみ)をお船(ふね)でたびたび渡(わた)らなくては往(い)かれぬのだよ。毎日精(こ)出しておとなしく歩(あ)かなくては」
 「でも早く往(い)きたいのですもの」と、姉(あね)は言った。
 一群(い)群(れ)はしばらく黙(も)って歩(あ)いた。

(森鷗外『山椒大夫』より)

本審査(第一次審査通過者対象)

日時：2013年8月25日(日)

コンテスト開始 13時半 / コンテスト終了 16時(予定)

場所：福岡女学院大学 エリザベス・リー・ホール

福岡市南区日佐3丁目42-1

審査員：吉竹史(毎日放送アナウンサー)、ほか

最優秀賞：トロフィー、賞状、

副賞(リニアPCレコーダーまたはiPad mini)

優秀賞：トロフィー、賞状、副賞(図書カード)

参加賞：オリジナルグッズ



本審査の対象は第一次審査通過者のみとなります。

第一次審査課題送付方法：

録音音声、カセットテープ、MD、CD、MP3形式音声データのいずれかの形式で提出してください。(7月20日必着)

郵送の場合：下記応募用紙に必要事項を記入の上、〒811-1313 福岡市南区日佐3丁目42-1 福岡女学院大学人文学部言語芸術学科 までお送りください。

メールの場合：メール本文に下記の必要事項を記入の上、fjgengo@gmail.com までお送りください。

お問い合わせ：福岡女学院大学言語芸術学科 092-575-6289
 言語芸術学科ブログ(<http://www2.fukujo.ac.jp/university/faculty/gengo/today.html>)
 言語芸術学科Facebook(<https://www.facebook.com/fukujojgengo>)

応募用紙

氏名:	学年:	性別: 男・女
高校名:	電話番号:	必ず連絡の取れるものをお書きください
住所:	メールアドレス:	必ず連絡の取れるものをお書きください